



TEAM238 かわらばん

2010年(平成22年)1月20日
第3号

藤沢市地域経営戦略100人委員会会報

この号の内容

- 1 基本計画の策定をスタート!
- 2 基本構想第一次素案について
- 3 「気づき」のアンケート~そのポイント
- 4 「ふじさわ総合計画2020」と今を検証する②
- 5 合同協議を開催しました

藤沢市地域経営戦略 100 人委員会は、地域の個性やニーズにあった地域完結型のまちづくりを進めるために、地域や市域での課題の抽出や、課題の解決を進め、新総合計画の策定と実行に対する意見提案などを行う会議です。

委員は、各地区の地域経営会議などからの推薦委員と一般公募委員により構成され、委員会は、まちづくりコーディネーターにより運営されます。

この「TEAM238 かわらばん」は、地域や藤沢の将来像を描くためにご協力いただいている委員の皆さんの委員会での活動をご紹介しますとともに、委員会での会議の進め方などの手法についてのご説明をいたします。

基本計画の策定検討をスタート

8月22日にスタートした地域経営戦略100人委員会は、11月1日に開催された第3回会議より、基本計画の策定検討に入りました。

それまでは、基本構想に関して「藤沢らしさ」の総合計画審議会への提案など、総合計画審議会が総合的に取りまとめるための素材(情報)の提供を行いました。この第3回会議からはじまった基本計画の策定検討では、意見提案や総合計画審議会との合同協議をしながら進めていきます。

基本計画のテーマである「課題」は、日常の不満の状態ではなく、将来の目標に向かって行動をするときに生じるものであるといえます。基本計画は、市全体計画と各地区の地域まちづくり計画等により構成されるため、市民力、地域力の視点が重要となります。

そのため、「気づき」の調査として、幅広く市民の皆さんが日常感じている、生活実感のある「気づき」を集め、その気づきの背景や原因を分析することによって、藤沢の未来をより夢のあるものとするための目標と課題を明らかにしていきます。

課題には様々なものがあり、一度に解決することはできませんし、誰が何を行い、協力していくかという視点も重要になってきます。そのため、これらの課題のうち、重要なもの、取り組むことで生活の充実感がより高まるものを選んでいくために、「重み付け」のアンケートを行います。

また、目標を定めていく中で、どのような状態になればその目標が達成されたことになるかということを示す「指標」を定めていきます。

これらを取りまとめたものが「基本計画」であり、この基本計画をもとに、基本計画を達成するための具体的な事業集である実施計画を策定していきます。



11月29日 明治市民センターにて

基本構想

未来に向けた方向性や見通しをあらわすもの



基本計画

基本(土台・基盤)となる計画

「気づき」の収集のポイント！

将来の目標に向かって行動する時に見えてくるもの、それが「課題」です。

これらの課題は、老若男女、様々な人たちの生活や活動に影響していますので、よりたくさんの方々に生活実感をうかがう中で、課題を具体化したり、共感を得て色々な知恵や切り口を見つけ、より次の、より大切なものを探したりしていくことによって、良い計画に結びつくものと考えています。

特に、原因や背景を分析すること（地域経営戦略100人委員会では「深掘り」と呼びます。）によって、課題の内容を明らかにすることが重要です。

この2つを達成するには、次のことがポイントになります。

✓ 幅広く聞き、新しい情報を集める

お知り合いに深く話を聞くことも大切ですが、普段、なかなか接点のない世代の方や知らない方の声に耳を傾けることも重要です。中には、古い情報で思いこんでいたこともあるかもしれません。幅広く聞き、新しい情報を集めることを前提にしましょう。

✓ 相手に合わせた方法で聞く

気づきを集める方法は1つではありません。アンケートは同じ質問について色々な人に尋ねるのに向いており、インタビューや茶話会は会話の中から気づきの繋がりや深掘りをしていくのに向いています。以前、地域経営戦略100人委員会で行ったワールド・カフェという手法も、会話やメモを整理しながら「気づき」を増やしていくために考えられた方法です。

まずは皆様のご経験やつながりを共有し、聞きたい相手に合わせた方法を考えてみてください。



✓ 相手が考えやすい聞き方で尋ね、課題の具体化に繋がる情報を集める

お尋ねした相手の方は、質問の例え話や直前に聞いたニュースなどに影響を受けていることもありますし、必ずしも地域や領域の経緯や最新情報を知っているわけではありませんので、質問によっては抽象的な回答しかできない場合があります。

相手が考えやすい聞き方を考えると共に、時には「それはなぜ？」などと一歩踏み込んだ質問を用意するなど、課題の具体化に繋がる情報を集めていきましょう。



✓ 集めた情報をよく見て、よく聞く

アンケートなどのご意見は、ご協力いただいた方ひとりひとりの意思表示です。提供いただいた声を読み解くことにより、新しい「気づき」に出会うことができます。

是非、得られた情報は皆さんで目を通して、続いて、他の方々の声に耳を傾けてください。



「ふじさわ総合計画2020」と今を検証する②

「ふじさわ総合計画2020」と今を検証する、その第2回は、市の財政状況です。藤沢市の財政は、比較的裕福であると言われています。ただし今後はどうでしょうか。

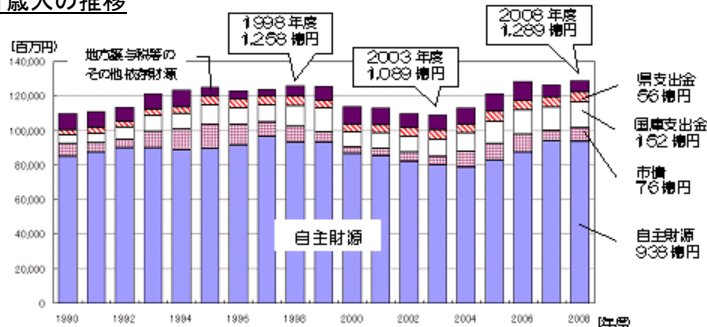
歳入（収入）

本市の歳入（普通会計）は、1998年度（平成10年度）の1,258億円が一度目のピークとなっており、2003年度（平成15年度）まで減少が続きました。

その後は、国から地方への税源移譲や個人市民税に係る税制改正、市債発行額の増加などにより再び増加傾向となり、2008年度（平成20年度）では、1,289億円に達しています。

しかし、景気低迷の影響により、2009年度（平成21年度）の歳入の総額は、減少に転じる見込みです。さらに今後も、引き続き景気低迷により、法人市民税の減収とともに個人所得の減少による個人市民税の減収が大幅に見込まれるなど、税収は大変厳しくなることが予測されます。また今後は景気の影響だけでなく、高齢化の進展や正規雇用者の減少などの社会的要因によっても個人市民税が減収傾向になることが予測されます。

普通会計歳入の推移

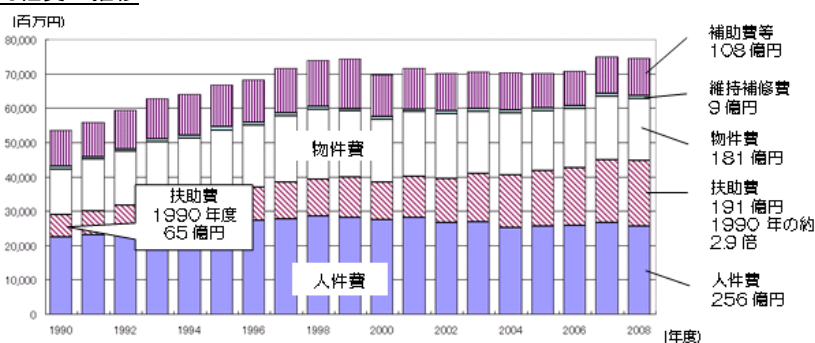


歳出（支出）

本市の歳出を普通会計ベースで見ると、2004年度（平成16年度）以降は増加に転じており、2008年度（平成20年度）の歳出は1,210億円となっています。2008年度の道路・公園などの都市インフラ整備等にかかる投資的経費は、246億円で歳出全体の20%を占め、そのうち132億円が特定財源で賄われています。また、人件費や物件費、扶助費などの消費的経費は、745億円で歳出全体の62%を占め、中でも扶助費については1990年度（平成2年度）と比較すると約2.9倍に増加しており、市財政の圧迫要因ともなっています。

財政見通しを中長期的に見た場合には、市庁舎や市民センターなどの公共施設の老朽化対策及び橋りょうや公園施設などの都市基盤施設の長寿命化対策が大きな課題となっているとともに、中心市街地等の整備や交通機関の整備促進など新たな都市基盤整備に対する財政需要の増大が見込まれるため、今後も厳しい財政状況が続くことが予測されます。

消費的経費の推移



基本構想第一次素案の提示・合同協議を開催

10月より総合計画審議会では「起草部会」を設置し、地域経営戦略100人委員会から寄せられた「藤沢らしさ」やその他の会議体からの「藤沢の強みと弱み」「将来予測に基づく課題」をもとに、将来像や新しい藤沢を象徴するようなキーワード、総合計画全体の構成等を検討してきました。

また、新総合計画を地域経営、市民主体のまちづくりを進めていくための計画として位置づけることを前提に、実際にどのように「藤沢づくり」の中で使われ、地域や市民生活の中で有効に機能し、生活の豊かさが得られる藤沢を創りだしていくかという方法について考えてきました。

この基本構想第一次素案は、11月23日に開催された第4回総合計画審議会を経て、12月2日の市議会議員全員協議会、12日の総合計画審議会と地域経営戦略100人委員会との合同協議、パブリック・コメントで意見をいただきました。

いただいた意見をもとに、更に検討を重ね、1月24日には2回目の合同協議を行う予定です。



「まちづくり40分講座」を開催！

11月1日と29日の地域経営戦略100人委員会の開催にあわせ、まちづくり40分講座を開催しました。

11月1日には、「第2回まちづくり40分講座」として、今「みやじ豚」で注目の宮治勇輔委員より、これからの農業標準や農家のこせがれネットワーク、地域の元気回復などについてのご講演をいただきました。

11月29日には、「第3回まちづくり40分講座」として、「ふじさわこどもまちづくり会議」を長年に渡り運営され、積極的な活動を実践されている三原栄一委員に、これまでの活動の歩みと今後についてのご講演をいただきました。

講座の詳細については、次号以降でご報告します。



「藤沢まちづくり講座」のテーマや講演・発表者を募集しています。地域のまちづくりや活動についての経過や成果、課題などについて、発表や議論を交わす機会です。自薦・他薦は問いませんので、ご連絡をお待ちしております。(経営企画課 電話 0466-50-3502)

藤沢市地域経営戦略100人委員会事務局(藤沢市経営企画部経営企画課)

(監修:まちづくりコーディネーター)

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1

電話番号:(0466) 50-3502

FAX 番号:(0466)50-8402

電子メール: kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

